

## 平成 28 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取 組 の 内 容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの多様な学習目標や進路希望を踏まえた学習指導を実践する。</p> <p>②自ら課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力等の育成ために自ら学ぶ力を育む学習活動を実践する。</p> <p>③幅広い教養と確かな学力を身につけさせ総合力の育成を図る。</p>	<p>①授業力向上に向けた授業研究の年間計画、テーマに基づき、継続的に組織的な授業改善を行っていく。</p> <p>②総合的な学習の時間において探究的な学習や主体的な学習を進めていく。</p>	<p>①職員の意識が高まるよう、生徒による授業評価や研究授業などの内容の充実を図る。</p> <p>②教員マニュアル等を作成し、それを活用することにより統一的に指導にあたり、生徒の主体的な学びの伸長を図る。</p>	<p>①生徒による授業評価などの結果などを評価の観点に活用する。</p> <p>②年度末に生徒にアンケートを取り、主体的な学びができたか確認、評価する。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①部活動や行事を通して、生徒の論理的思考力・表現力・創造性を伸ばし、リーダーシップや企画力の向上を図る。</p> <p>②よりきめ細かな個別支援を実現することにより、生徒一人ひとりが安心した学校生活を送ることが出来るよう支援する。</p>	<p>①生徒会活動を生徒の主体的な活動の場として捉え、教員は助言指導・サポート役に徹し、生徒の能力の伸長を図る。</p>	<p>①部活動や行事を通して生徒のリーダーシップや企画力の向上を図るために、生徒の力で活動できるように助言する。</p>	<p>①部活動や行事を通して生徒のリーダーシップや企画力の向上を図れたかアンケートを実施し評価する。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>生徒一人ひとりが目指す進路の実現に向けて、様々な支援や指導を実践する。</p>	<p>職員間の連携を図り「キャリア教育実践プログラム」の着実な実践を通じて、生徒の進路実現を支援する。</p>	<p>「キャリア教育実践プログラム」の着実な実践が進むよう、主管グループを中心とした組織的な体制づくりに取り組む。</p>	<p>組織的な体制づくりを取り組むことができ、今後の支援体制を確立することができたか。</p>
4	地域等との 協働	<p>①地域に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②後援組織である三徳会・牧陵会との連携を深め、学校教育支援体制の充実を図る。</p>	<p>①学校の教育活動を積極的に地域等へ公開するとともに、行事等では参加してもらえるよう努める。</p>	<p>①文化祭などの行事に来校してもらい学校の状況を知ってもらおう。また、避難訓練に地域の方にも参加してもらおう。</p>	<p>①多くの方に来校、参加してもらったか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①全職員が参画し、組織的・機動的な学校運営体制を推進する。</p> <p>②生徒・保護者に信頼される学校を維持するために事故不祥事防止に努める。</p>	<p>①職員の意見交換の場としての「緑の意見交換会」を定期的実施し、全職員が参画する運営体制を活性化させる。</p>	<p>①半期に1～2回「意見交換会」を実施し、職員に積極的に参加してもらい、意見交換を行う。</p>	<p>①開催することができたか。有意義な意見交換ができたか。</p>